

地域の足の現状と制度や技術のイノベーションによる課題の解決

日時：9月24日（火） 16:50-18:35

場所：国際学術総合研究棟12階 1216

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、国土交通省大臣官房公共交通・物流政策審議官 瓦林康人氏からお話を伺います。

人口減少の本格化や超高齢社会の到来等に伴い、交通の分野では、地方部を中心に、地域の足の確保やそれを担う働き手の不足など、これまでにない深刻な課題が浮き彫りになっています。これを受け、国では、法律や予算などの制度的な枠組みの改善や充実を図り、各地域で必要な輸送サービスがサステイナブルに提供される仕組みづくりに取り組んでいます。

また、AI、IoT等の情報通信分野の技術革新やスマートフォンの普及などの効果を、交通分野でも積極的に取り入れ、MaaS(マース: Mobility as a Service)をはじめとする利便性の高い次世代モビリティの実現を通じて、これらの課題の解決に活用していくこととしています。

本講では、地域の足の現状と国土交通省の施策を概観し、制度や技術のイノベーションを通じて地域の足の課題を解決する方策について考察します。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生は直接教室に参集願います。

(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。ご注意ください)。

－問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp－



国土交通省

大臣官房

公共交通・物流政策審議官

瓦林 康人 氏